

平成27年度愛知県学校図書館研究会高等学校部会 名瀬地区研究会 第2回研究会・司書部研究会

< 報告 >



今年度の第2回研究会は従来の研修スタイルを変更し、図書館の見学を中心に実施しました。

7月30日(金)に、愛知県立ひいらぎ特別支援学校、新美南吉記念館、西尾高等学校、西尾市岩瀬文庫の各図書館施設を見学し、展示や運営の工夫などについて研修しました。



1 愛知県立ひいらぎ特別支援学校

あちらこちらに工夫や配慮が施された教室や施設を見学しながら図書室に入室し、学校の概要説明を受けました。ひいらぎ特別支援学校では、近隣の小中高の学校との交流や共同学習が盛んに行われ、半田高校とは読書交流を実施しているそうです。

図書室の規模は小さいのですが、とても工夫されていて、大型本やエプロンシアターが展示されていました。また、当日は音楽室にて「やってみよう！パネルシアター」の講座も行われており、少しの時間でしたが見学することができました。

パネルシアターとは、ネル布を張ったボード（縦80cm×横110cmが標準サイズ）を舞台とし、絵人形を貼ったり外したり、動かしたりしながら歌やお話に合わせて演じるものです。



2 新美南吉記念館

7月30日は新美南吉の誕生日で、生きていれば今年で102歳です。当日は「南吉さんの日」式典が行われ、多くの方々が訪れていました。私たちも式典に自由参加することができました。「新美南吉 生誕祭」は7月30日～8月2日まで行われるそうです。

式典中のため学芸員の方の解説を受けることはできませんでしたが、ボランティアの方の説明を聞くなどして、各自で館内見学をしました。同館内では、終戦70周年記念特別展として「ひろったラッパはどうなった？」も7月18日から開催されていました。

展示室では南吉の自筆原稿や日記、手紙、図書などが紹介されており、南吉の生涯と文学活動を知ることができます。



< 新美南吉童話イメージキャラクターの紹介 >

- ・名前：ごん吉くん ・性別：男の子 ・誕生日：3月24日
- ・お友達：だし丸くん（半田市観光マスコットキャラクター）
- ・お仕事：南吉童話ナビゲーター
- ・性格：礼儀正しいけど、実はいたずら好き



👉 童話の森から見た新美南吉記念館



👉 「南吉さんの日」式典



3 愛知県立西尾高等学校

西尾高等学校は、平成 20 年に創立 90 周年を迎えた伝統校です。こちらでは、図書館内に設置されている「茨木のり子記念文庫」を見せていただきました。茨木のり子さんは戦後現代詩を代表する詩人で、西尾高等学校の前身にあたる西尾高等女学校の卒業生です。縁あって茨木のり子さんの愛読本を所有していた西尾高校の卒業生が、一部を学校に寄贈したため、平成 24 年に「茨木のり子記念文庫」が創設されました。

これを機に、作品にも親しみを持ってもらおうと、同窓会が中心となって、茨木のり子さんの詩集などを購入し、記念文庫の横に特設コーナーを設けて、約 30 冊が在校生に紹介されています。また、茨木のり子さんの詩集から書道作品も創作され、展示されていました。



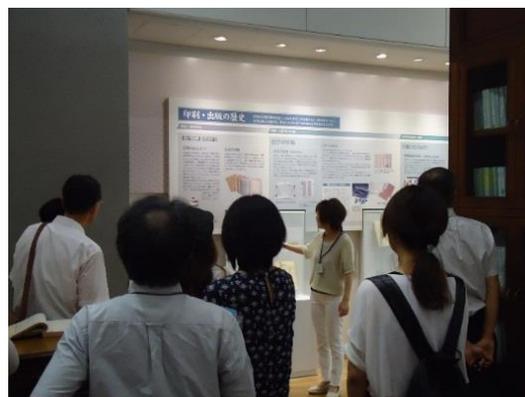
4 西尾市岩瀬文庫

岩瀬文庫は、今から 100 年以上前の明治 41（1908）年に西尾市須田町の豪商岩瀬弥助が私財を投じて設立した私設図書館が始まりです。岩瀬文庫の蔵書は 8 万冊を超え、時代は古典籍から近代にわたる幅広いものです。分野も、歴史・国文学・本草・地誌・絵本・絵巻・地図類など多岐にわたっています。

当日は岩瀬文庫のなりたちやコレクションについての概要説明を受けたあと、館内を案内していただき、展示の解説を受けました。館内外の壁や柱のあちこちには、蔵書を写した壁画がプリントされており、訪れる人たちを楽しませてくれます。

常設展示室では、和装本の装丁や写本の特徴、印刷・出版の歴史などをわかりやすく解説しています。また、常設展示室の奥では、7 月 4 日から 9 月 27 日まで「虫愛づる人々」をテーマにした企画展が行われています。岩瀬文庫が所蔵する古典籍類を通して、日本の精神文化や生活に深く根ざした「虫」の姿が紹介されていました。次回（10 月 3 日～12 月 6 日）の企画展示は、「江戸の美味しさ召し上がれ～素晴らしき料理本の世界」だそうです。

閲覧室では、読みたい本を申請すれば書庫から出してもらうことができます。当日も学芸員の方から歴史的価値のある書物をたくさん出していただき、興味深い解説を受けながら、実際に手にとって見ることができました。



最後に、この研修にあたり関係各所の担当職員の皆様には大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

報告者 名瀬地区研究会事務局 柴田峰子